

# 日本フンボルト協会 2020年度年次総会 議事案

**\*グレーの部分が審議事項となります。\***

1. 2019年度の活動報告(報告事項 資料1参照)

2. 2020年度の活動方針(審議事項 資料2参照)

3. 2019年度決算・2020年度の予算案について(審議事項 資料3, 4, 5参照)

4. 日独共同研究奨学金基金と財政安定化基金について

(1) 本年度の奨学金基金と財政安定化基金の会計について(審議事項 資料6-1参照)

(2) 本年度奨学金選考結果について(資料6-2参照)

\* 授賞式などについては、助成対象者の来日の可能性なども含め、場合によっては、Zoomも活用して授賞式を実施する予定。

(3) 2021年度実施要綱について(和文、独文)(資料6-3参照)

\* コロナの影響もあり応募者が少なかったが、次年度以降、応募者増に努めたい。なお、新型コロナウイルス状況下では、共同研究のあり方なども含め、弾力的に運用したい。

5. 監事の推薦について(審議事項)

\* 協会監事は2名であるが、現状では吉川泰弘 監事1名であり、協会監事の欠員補充として、芳賀雅顕(はが まさあき) 会員(慶應義塾大学(法学))を推薦したい。

\* 監事は常務理事会に出席することができるので、次回から案内を送付する。

6. 賛助会員の推薦について(報告事項 資料7参照)

\* 資料7に基づき、以下の2名を賛助会員とする提案。

長谷川修一 先生(2019年度フンボルト賞受賞者) 推薦者: 高橋輝暁会員、伊藤真会員

大越 慎一 先生(2019年度フンボルト賞受賞者) 推薦者: 梶 英輔会員、伊藤真会員

7. 支部報告(報告事項 資料8参照)

\* 各支部長から支部活動の報告。

北海道支部 (居城先生)

東北支部 (須田先生)

関東甲信越支部 (井田先生)

中部支部 (和田先生)

関西支部 (西川先生)

中四国支部 (坂越先生)

九州支部 (河野先生)

8. 来年度の総会の予定(報告事項)

\* 今後のコロナの状況も踏まえながら、開催時期などを検討するが、できる限り通常通り開催したい。

9. その他(報告事項)

(1) Humboldt-Kolloquiumについて

\* 2021年度開始予定の上記コロキウムが2022年度に延期になり、本協会もそれに合わせて引き続き支援して行く。

(2) 今後の会議開催について

\* 常務理事会などは、原則、事務局をホストとするZoom会議を活用していく。

\* 本年度の総会決議の扱いについては、以下の手続きによることにする。

1) 全会員に従来通り総会案内(協会HP上に総会審議事項を掲載している旨)を送付する。

2) 総会案内には、HPを見て期限付きで賛否の意見を入れてもらうような案内文も入れる。

3) 日本フンボルト協会として行うべき前向きな情報発信の企画もあることも併せて通知する。

(以上) 2020.06.16